

東京都立小石川中等教育学校

年間授業計画

教科:(公民)科目:(倫理) 対象:(4年ABCD組)

使用教科書:倫理(東京書籍)

使用教材:ワークシート、原典資料プリント

	指導内容 【年間授業計画】	科目の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点 方法	予定 時数
4月	1 青年期の課題と自己形成 ①青年期の特徴 ②自己理解 欲求と適応 性格類型論 2 思想の源流 ①ギリシア哲学 ・フォアゾクラティカー	青年期心理学の諸成果を学習することを通じ、自我がめざめ自己自身の人生観・世界観を形成する時期である青年期の心理的特徴について理解を深める。 人類の思想の源流の一つとしてのギリシア哲学を学習する。 その初めとして、タレスやアナクシマンドロスなど、いわゆるフォアゾクラティカーたちの行った、世界の根源(アルケー)に迫ろうとする営みを総覧する。 ※ギリシア神話の紹介の際、日本の神話についても触れる。	知識 思考力 ワークシート	6
5月	2 思想の源流 ①ギリシア哲学 ・ソクラテス ・プラトン ・アリストテレス ・ヘレニズム期の哲学	ギリシア哲学の最盛期であるアテナイ期の3人の哲学者、ソクラテス・プラトン・アリストテレスの思想を学習する。特にプラトンのイデア論、アリストテレスの『自然学』などを通じて形成された形而上学的思考様式を、それ以降の西洋哲学史を貫く原理として理解する。 ヘレニズム期の哲学については、ストア学派のコスモポリタニズムが、ローマ帝国を支える思想ともなったことを理解する。	知識 思考力 ワークシート 中間考査	8
6月	2 思想の源流 ②三大宗教 ・キリスト教 ・イスラム教	世界の三大宗教を学習する。 キリスト教については、その母胎であるユダヤ教の学習から始め、キリスト教として民俗宗教の枠を越えて普遍性をもった宗教となっていく過程を、福音書やパウロの手紙などを通じて理解する。 イスラム教については、起源からしてユダヤ教・キリスト教との同根の宗教であること、また厳格な唯一神教であること、日本にはなじみの薄い信仰形態などを学習し、理解を深める。 日本におけるキリスト教思想については適宜学習する。	知識 思考力 ワークシート	8
7月	2 思想の源流 ②三大宗教 ・仏教	仏教については、バラモン教の学習から始め、輪廻や業といった概念が仏教にも影響を及ぼしたことを学習する。仏教自体は、縁起の理法、四諦八正道、慈悲などの主要概念の学習を通じ、生命を尊ぶ宗教という性格を理解する。また、アジア一帯への伝播、日本への大乘仏教の定着などについて理解を深める。 バラモン教典、原始仏典、大乘仏典などを読み、仏教思想の要点を学習する。	知識 思考力 ワークシート 期末考査	6

東京都立小石川中等教育学校

年間授業計画

教科:(公民)科目:(倫理) 対象:(4年ABCD組)

使用教科書:倫理(東京書籍)

使用教材:ワークシート、原典資料プリント

	指導内容 【年間授業計画】	科目の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点 方法	予定 時数
8・9月	2 思想の源流 ③中国思想 ・儒家 ・道家 3 現代を生きる倫理 近代西洋思想 ①近代思想の萌芽 ・ルネサンス ・宗教改革	古代中国に現れたいわゆる諸子百家のうち、特に後世への影響が大きい儒家と道家の思想について、『論語』『孟子』『老子』『荘子』を始めとする文献を読み、理解を深める。 儒教が為政者の道徳および政治思想という側面を持ち、かたや道家が世間の常識や束縛を離れた自由闊達な境地を説くという対照的な思想であり、両者が表裏一体となり歴史的に中国文化を彩ってきたという経緯を学習する。朝鮮半島および日本への影響についても学習する。 ルネサンスと宗教改革を学習することを通じ、近代西欧において人間中心主義、個人主義という価値観が正面に出てきたことについて理解する。	知識 思考力 ワークシート	6
10月	3 現代を生きる倫理 近代西洋思想 ②科学的方法の探究 ・ベーコン ・デカルト ・パスカル ③合理論と経験論 ・スピノザ ・ライプニッツ ・ロック ・バークリ ・ヒューム	デカルト、フランシス＝ベーコンによる演繹法と帰納法の提唱、とくにデカルトにより打ち立てられた機械論的自然観が、近代自然科学の立場を基礎づけたという事実を確認し、それが技術文明に直結していくことを理解する。 近代西欧において主要な思想的潮流となった大陸合理論(スピノザ、ライプニッツ)とイギリス経験論(ロック、バークリ、ヒューム)を学習し、両者の成果と難点が、ともに後代のカントにつながっていくことを理解する。	知識 思考力 ワークシート 中間考査	10
11月	3 現代を生きる倫理 近代西洋思想 ④啓蒙主義思想 ・グロティウス ・ホッブズ ・ロック ・ヴォルテール ・ルソー ⑤ドイツ観念論 ・カント ・ヘーゲル	ホッブズ、ロック、ルソー三者による社会契約説の展開を、17～18世紀の市民革命の進行を参照しつつ学習し、近代民主主義の原理の誕生について理解を深める。 カントの批判哲学を、『純粋理性批判』や人格の尊厳を謳った『実践理性批判』などの著作を通じて学習する。特にいわゆる「コペルニクス的転回」で有名な人間理性の権能を問う問題意識、当為という事態により証される自由の理念などについて理解を深める。 つづいてヘーゲルを学習し、ヘーゲルにおいてデカルトから始まる近代理性主義哲学が完成し、人間理性の万能という立場が人間による自然支配を後押しすることとなるということを理解する。	知識 思考力 ワークシート	8
12月	3 現代を生きる倫理 近代西洋思想 ⑥功利主義 ・ベンサム ・ミル 4 現代思想 現代的状況と思想 ①社会主義 ・空想的社会主義 ・マルクス主義 ・社会民主主義	資本主義がいち早く発展したイギリスにおいて、種々の課題に対応するために功利主義が登場することを学び、近代国家の形成に果たした功利主義の役割を理解する。 科学技術の発達、資本主義の発展、社会組織の巨大化等から生じた、貧困や不平等など社会的矛盾の増大、人間疎外、大衆化といった諸事象を、いち早く問題としてとらえた者たちが現代思想の先駆となったことを概観し、その第一弾として社会主義を学ぶ。	知識 思考力 ワークシート 期末考査	6

東京都立小石川中等教育学校

年間授業計画

教科:(公民)科目:(倫理) 対象:(4年ABCD組)

使用教科書:倫理(東京書籍)

使用教材:ワークシート、原典資料プリント

	指導内容 【年間授業計画】	科目の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点 方法	予定 時数
1月	4 現代思想 現代的状況と思想 ②現象学 ・フッサール ・メルロ＝ポンティ ③生の哲学 ・ベルクソン ④プラグマティズム ・バース ・ジェームズ ・デューイ ⑤実存主義 ・ニーチェ ・キルケゴール	19世紀から20世紀にかけての新たな学問的状況を、現象学の登場を軸として概観する。 技術的知識の重視、伝統的生活と文明生活との齟齬という背景から、アメリカで生じたプラグマティズムの特徴について学習する。特にその核をなす真理論について理解を深める。 実存主義については、主体性を奪っていく現代的状況に登場した思潮であり、その先駆者としてキルケゴール、ニーチェが挙げられるという点、ニーチェは近代批判のみならず、「近代」を生み出した西洋の二千年来の文化全体の批判者であることを理解する。	知識 思考力 ワークシート	6
2月	4 現代思想 現代的状況と思想 ⑤実存主義(続き) ・ハイデガー ・ヤスバース ・サルトル 4 現代思想 理性主義への反省 ・レヴィ＝ストロース ・フーコー ・サイード ・ホルクハイマー ・アドルノ ・ハーバマス ・ベンヤミン	実存主義については、20世紀前半の主流となったという点、また一言で実存主義と言っても、生の哲学からの影響や現象学の影響下にあるものなど多様な思想であることを理解する。 現代思想は技術文明の開花で頂点を極めた理性主義への反省という視点を共通にもっていることを確認し、その上で、レヴィ＝ストロース、フーコーらの構造主義、フランクフルト学派などの思想を理解していく。	知識 思考力 ワークシート	8
3月	4 現代思想 理性主義への反省 ・ヴィトゲンシュタイン ・クーン ・デリダ ・アーレント ・レヴィナス ・ドゥルーズとガタリ 政治経済と倫理 ・ロールズ ・セン 自然と人間 ・シュヴァイツァー ・ガンディー	現代思想のもう一つの特徴として、哲学の主流が意識主体の分析から言語の分析に移ったという「言語論的転回」があるが、それは上記の構造主義の活動とも、また、分析哲学とも連動するというつながりを理解し、代表的哲学者であるヴィトゲンシュタインを中心に学習する。またその言語観がクーンのパラダイム論の手がかりとなったことも学習する。 倫理的観点から政治経済を論じたロールズ、センの思想を概観する。 自然・生命・人間の在り方を技術文明とは異なる視線で捉えた人物として、ゲーテ、シュヴァイツァー、ガンディーなどの主張を学習する。	知識 思考力 ワークシート 学年末考査	6